

事業番号	事務事業名	病児一時預かり事業	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01850	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	鏡野町病児・病後児保育事業実施要綱	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・病気や病気回復期にあたり、通園・通学の困難な時期に、対象児を病院併設の施設で預かり健康確保を図る。 ・母子手帳交付または転入等の際に事業説明、申請書の配布し、登録、審査、決定。登録更新案内。 ・医療機関への委託料支払、委託契約など 	<p>近隣市町村でも実施のある事業で、町内での要望も多くあり、平成20年4月より開始。 平成30年度より「鏡野病院・たんぼぼ」に加えて、広域利用で津山市の「松尾小児科・さくら」「小畑醫院・方舟」も利用可能となっており、津山市の2施設は小学6年生まで利用可能である。</p>

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 生後8か月の乳児から小学校3年生までの児童	ア 小学校3年生までの乳幼児、児童数	人	見込 実績	1,000 1,031	1,000 1,003	1,000 984	1,000	1,000
イ	イ 利用登録件数	件	見込 実績	90 104	90 112	90 90	90	90
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 共働き等により看護が困難な夫婦に代わり、病児・病後児の健康確保を図る	ア 病児保育室利用件数	件	目標 実績 達成率	170 265 155.9%	170 199 117.1%	170 68 40.0%	200	200 34.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 制度の周知	ア 周知回数	回	目標 実績 達成率	50 52 104.0%	50 59 118.0%	50 49 98.0%	50	50 98.0%
イ 利用登録申請	イ 利用登録申請件数	件	目標 実績 達成率	90 104 115.6%	90 112 124.4%	90 90 100.0%	90	90 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 02		目 01		大 事業 中 事業					事業番号			
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		07	06	予算上の事業名				01850		
									病児一時預かり事業								
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比				
国庫支出金			8	19	19	8	国庫支出金			0	19	19					
県支出金	368		4	9	9	4	県支出金	127		0	9	9					
町 債							町 債										
その他特財							その他特財										
一般財源	969	1,179	1,513	1,294	1,294	334	一般財源	1,177	1,021	1,043	1,294	1,294	22				
合計	1,337	1,179	1,525	1,322	1,322	346	合計(A)	1,304	1,021	1,043	1,322	1,322	22				
財源名称	子育てのための施設等利用給付交付金						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	岡山県子育てのための施設等利用給付交付金						延べ業務事務時間	24	24	30	24	24	6				
							人件費計(千円)(B)	81	84	100	80	80	16				
最終予算額		1,525 千円		予算執行率		68.3%		トータルコスト(A+B)		1,385	1,105	1,143	1,402	1,402	38		
主な支出事業内容(予算)	消耗品費						2 千円		主な支出事業内容(決算)	消耗品費						0 千円	
	通信運搬費						13 千円			通信運搬費						13 千円	
	委託料						400 千円			委託料						131 千円	
	負担金						1,100 千円			負担金						899 千円	
	扶助費						10 千円			扶助費						0 千円	

事業番号	01850	事務事業名	病児一時預かり事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
利用者数も増加し、事業が浸透している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
母子手帳交付、転入、赤ちゃん訪問等での個別の説明、ホームページを利用した制度説明などで利用者への周知を図る。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町内の医療機関(鏡野町国民健康保険病院)での病児保育室利用が可能であること、津山市の施設も利用できることで、利用者の負担が軽減されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	子育てと乳幼児の健全な育成を進めるためのものである。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	家族化が進む中、子育て支援と乳幼児の健全な育成を進める上で、町が関与することは妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	生後8か月から小学校3年生まで(広域利用では7か月から小学校6年生まで)と広く対象としており、適切である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	近年利用者数が増加しており、事業が浸透してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者が減少した。しかしこれは鏡野町に限らず、他市町村でも同様である(広域での病児保育延べ利用者数は計1,000人近く減少している)。状況が落ち着いた後に、再度利用していただけるよう、広報等を継続していく。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	病気によっては長期看護を必要とするため、廃止・休止をすると保護者の負担が増加するため、廃止・休止は考えられない。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	医療機関での1日の受け入れ可能数(鏡野病院では現4名)を増やせば、流感等の流行期の利用者の増加が見込まれるが、人件費等の経費又は従事者の確保などの必要があるため、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着くと、再び利用が増加すると考えられるため、事業費の削減はできない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	兼務で事務を行っており、人件費の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	利用定員があるため全体の利用が望めない状態になることもあるが、予約制であり自己負担もあるため、公平・公正であると考えられる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	これまで安定して利用があり、事業が浸透してきたと思われる。令和2年度は利用数が減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると推測され、今後状況が改善された際には再び利用が増えると思われる。町が仕事と子育ての両立ができる支援を行うことは、保護者にとっても大きな安心に繋がっている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)